研究授業学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学校名：北海道滝川西高等学校

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者：教諭　本　川　真　幸

指導日時　平成26年９月26日（金）２校時

対象生徒　２年Ａ組（男子18名　女子22名　計40名）

科　目　名　コミュニケーション英語Ⅰ

使用教科書　Vivid English CommunicationⅠ（第一学習社）

１　単元名 Lesson 7 Japanese Dishes from Abroad

２　単元の観点別到達目標とその評価方法

　　　＊シラバス上の単元（レッスン）の到達目標から抜粋

　　　　　　【観点別到達目標】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【評価方法】

　　①【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

　　　　コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。　　　　　　　　　学習活動の観察

　　　　（既習の絵や写真、文化などの説明をJTEやALTに行いながら会話を継続しようとしている）

　　②【外国語表現の能力】

　　　　既習の絵や写真、文化などの説明をJTEやALTに行いながら会話を継続できる。　　　　　　　インタビューテスト（後日）

　　　　教科書レベルの英文（コミュニケーション英語Ⅰ）であれば正確・かつ流暢に音読できる。　　　　　　　　音読テスト（後日）

　　③【外国語理解の能力】

　　　　この単元ではこの観点については評価しない。

　　④【言語や文化への知識・理解】

　　　　英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。　　　　　　　　定期考査（後日）

３　本時の目標

　　　　　　【観点別到達目標】　　　　　　　　　　　　　　　　 　　【評価方法】

　　①【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

　　　　コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。　　　　　　　　　学習活動の観察

　　　　（既習の絵や写真、文化などの説明をJTEやALTに行いながら会話を継続しようとしている）

　　②【外国語表現の能力】

　　　　既習の絵や写真、文化などの説明をJTEやALTに行いながら会話を継続できる。　　　　　　　インタビューテスト（後日）

　　　　教科書レベルの英文（コミュニケーション英語Ⅰ）であれば正確・かつ流暢に音読できる。　　　　　　　　音読テスト（後日）

　　③【外国語理解の能力】

　　　　この単元ではこの観点については評価しない。

　　④【言語や文化への知識・理解】

　　　　英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。　　　　　　　　 定期考査（後日）

４　本時の授業計画と評価方法

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ねらい・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準①～④・評価方法 |
| 10min | 帯活動（Picture Description） | ①カテゴリー、②色や形状、③具体的な様子を的確に説明できるようにする  　⇒Can-Do List 【Speaking】より | ①学習活動の観察  ②インタビューテスト（後日） |
| 5min | 前回の復習  What is “Food Miles”? | 「フード・マイル」とは何かを、生徒に再度確認させる | ④定期考査（後日） |
| 10min | 音読練習 | テキストの音読活動  　・コーラス(T/S)  　・スラッシュ(S/S)  　・シャドーイング(S/S) | ②音読テスト（後日） |
| 20min | 内容理解  解答確認 | 内容についての質問に答える  　※ペアで協労して答えを導き出さ  　　せる | ④定期考査（後日） |
| 5min | 本時の学習活動のまとめ  宿題の指示 | 学習内容の確認  次回につながる課題の提示 |  |

①【関心・意欲・態度】　②【表現の能力】　③【理解の能力】　④【言語・文化】